

団体名	各務原映画祭実行委員会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 各務原市全国まちおこし映画祭事業		
事業概要	地域に根差した映像(まちおこし映画)を制作する団体に呼びかけ、各務原市内で映画祭を開催することで、各務原の魅力発信に繋げる。		
事業費総額(確定)	575,366 円	助成金額(確定)	300,000 円
主な経費内容	司会者謝礼金、作品出品謝礼、チラシ等印刷費、消耗品費、保険料、会場使用料、機材レンタル料、動画編集委託料、フリーペーパー広告宣伝費		

●実施内容

■各務原映画祭

日時:令和6年1月7日(日)12:00~18:00

場所:産業文化センター あすかホール

参加者:510人(一般来場者463人、出品者17人、スタッフ30人)

入場無料

北海道から沖縄県まで7県11地域の11作品を上映。

制作に関わったプロデューサー、行政職員などのトークライブも実施し、作品に込めた思いや地元の魅力などをPRする機会を提供した。

ロビーでは、ワークショップ作品のロケ地をパネルで紹介し、舞台となった施設や名所の観光パンフレットも設置した。

■映画祭関係者交流会

日時:令和6年1月7日(日)18:00~20:30

場所:産業文化センター2階第3会議室

参加者:46人(出品者14人、ゲスト2人、スタッフ30人)

映画祭終了後の関係者交流会では情報交換や親睦を深め、地域間を超えた交流に発展した。

5月26日	キックオフミーティング
9月	上映作品選定・交渉開始、チラシ作成開始
10月	各務原市・教育委員会・観光協会に後援名義書類提出
12月14日	チラシ折込作業
12月21日	役割分担会議
1月6日	前日準備
1月7日	各務原映画祭&関係者交流会
1月10日	全体反省会

●事業の成果

・自主映画制作団体や過去ワークショップ参加者などに声掛けし、小学生から年配者、海外の方まで32名がスタッフに加わった。また、俳優の加藤雅也氏がアンバサダーに就任し、各務原の積極的なPR活動を行った。

・来場者アンケートでは、「映像を通じて地元の魅力や価値を再発見できた」という意見が寄せられ、「自分のまちでも映画をつくりたい」と回答する人が20%あった。地域映画が市民の郷土愛やシビックプライドを醸成し、新たな地域活動の担い手を作る「人づくり」に繋がることが分かった。

・アンケートでは「ロケ地を訪れたい」と回答する人が33%あり、今後のフィルムコミッションや聖地巡礼にも期待できる。

●団体の活動目的・目標

地域活性の一環として、「まちおこし映画」の制作・上映活動を実施し、映画文化によるプロモーション活動と地域の魅力の再発見を行うとともに、世代間・地域間を超えた交流の機会を提供する。

